

宇検村 参加支援の取り組み

宇検村

保健師 浅尾 晋也

(宇検村社会福祉協議会に派遣中)

今日の内容

宇検村の
概要

取り組みの
きっかけ

宇検村の
取り組み

参加支援
に取り組む
意義

宇検村の概要

鹿児島県奄美大島南西部に位置する村

人口 1,678名 高齢化率 44.6%

世帯数 960世帯 (R3.8月末現在)

焼内湾を囲むように14集落が点在

<社会資源>

【医療】

診療所1ヶ所 薬局1ヶ所 歯科診療所1ヶ所

【子ども】

村営保育所1ヶ所 へき地保育所1ヶ所

小学校1校 中学校1校 小中学校3校

学童クラブ (村営) 1ヶ所

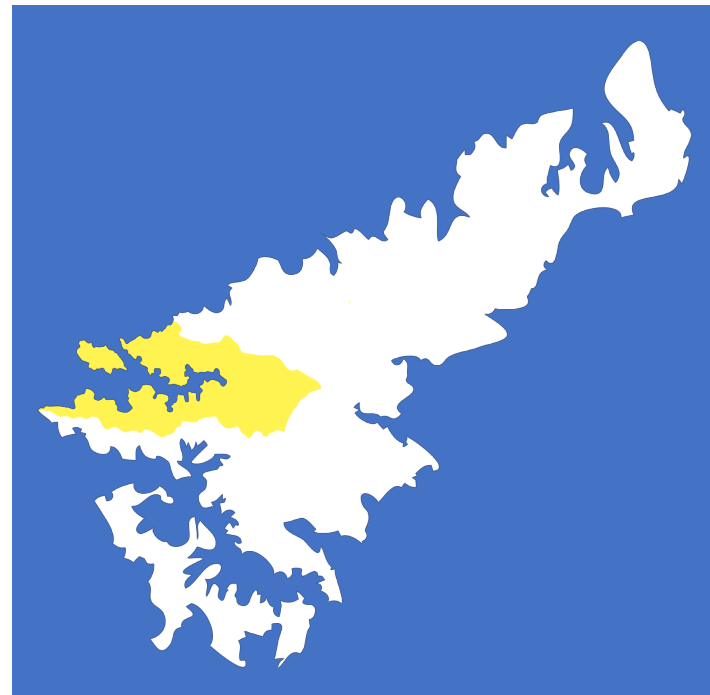
【高齢者】

社会福祉法人 (特別養護老人ホーム、短期入所、通所介護、居宅介護支援)

社会福祉協議会 (通所介護、訪問介護、居宅介護支援)

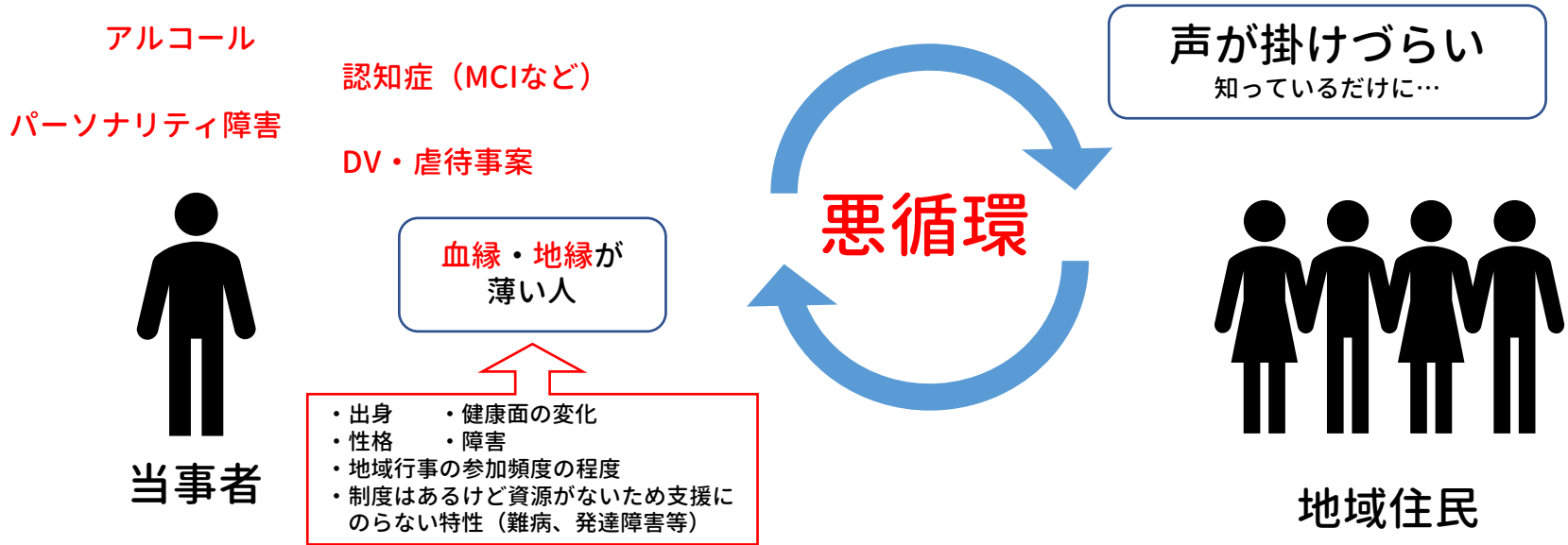
【障害】

社会福祉法人 (施設入所支援、短期入所、共同生活援助/共同生活介護、生活介護、自立支援 (生活訓練)、就労継続支援B型)、合同会社 (就労継続支援B型)



- ほとんどの福祉事業所が集落から離れた場所にあり、やや福祉の現場が分断
- 集落が分散しているため、人口の割には居住地が広域にわたり、集落ごとの交流が自然発生的に生まれにくい

取り組みのきっかけ

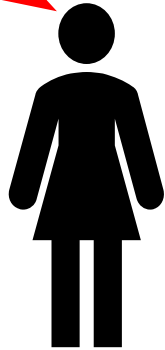


アウトリーチと拠点づくり、コミュニティデザインによって、
つながりづくり・つながり直しに取り組む
→ 『予防』と『共生』の視点

宇検村の取り組み（令和3年度参加支援）

<意識しているポイント>

- ・コミュニティナースの活動を参考
- ・ふらっと地域を廻る
- ・地域福祉活動の支援も応援する



<意識しているポイント>

- ・『給付』や『申請によるサービス提供』ではない取組
- ・日常に『福祉』の風景を。



<意識しているポイント>

- ・楽しい！ワクワク！を大事に
- ・他の分野、今までの枠組みを超える
- ・福祉の関与が薄い若年世代をターゲット



①アウトリーチ看護師の配置
(参加につなげる)

②交流の拠点づくり
(参加の場をつくる)

③地域共生の村づくりプロジェクト
(参加の場を広げる)

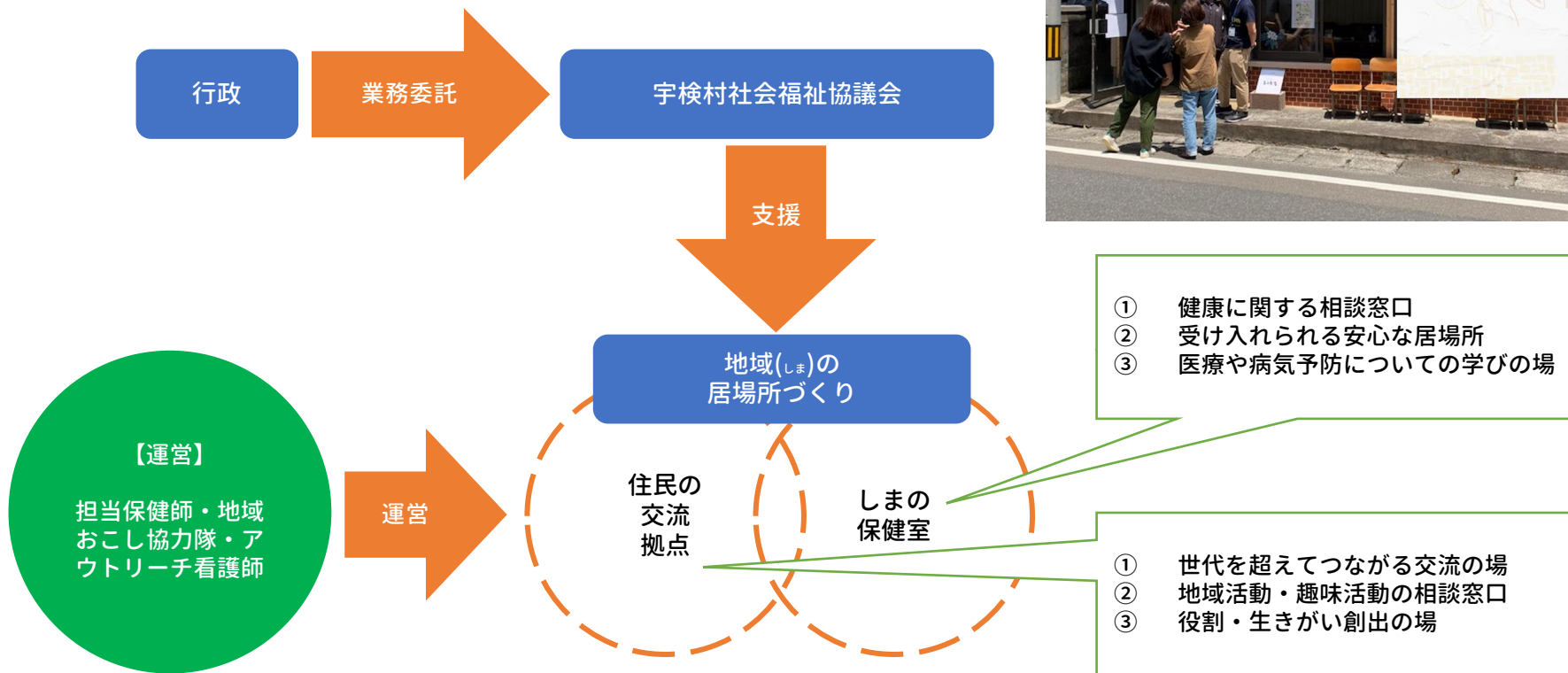
アプローチの視点

ミクロ

メゾ

マクロ

交流の拠点づくり



自分たちが実現できる『参加支援』の拠点としての意味

事例紹介

その他、起こっていること

- ・ お食事デイ
- ・ 島の小学生と内地の大学生とのオンライン交流会
- ・ 健幸麻雀クラブ
- ・ ものづくりワークショップ
などなど

<大切にしていること>

- ① 目の前にいる『その人』を知る
- ② 自分たち自身がつながることから始める
- ③ 自分たちとのつながりを少しずつ多様なつながりへと広げていく



ふらっと立ち寄れる場所が
地域にあることの意味

感じている課題・難しさ

- 事業を進めるうえでの不安との付き合い方
- 参加支援に対するイメージの難しさ
- 対応できていない事例もたくさん…

<対応できていない事例>

- 無職50代男性。アルコールトラブルから断酒できたものの就労できず。親の年金での生活を送っているが、支援を拒んでいる。
- 無職60代女性。精神疾患の疑いあるも受診なし。閉じこもりにより地域から孤立。

- 心がくじけそうなとき助けてくれるのは、『ここがあって良かった』と言ってくれる住民、いろいろな形で協力してくれる人たち

参加支援に取り組む意義

- 『参加支援』というよりは『地域づくり』を意識して取り組んでいる
- 『場』と『人』があれば取り組める
- 地域に『場』があることの豊かさを信じる
- 『参加』には『関係性』が重要
- 1人に向き合う→リアルに地域を考える機会
- 小さく、できることから始める

いろいろな人に感じてもらう場をつくる

アウトリーチとの連動

住民の力を信じる

ちょっとした『地域共生社会』を感じる場面に気づく
→自分のモチベーションになっています。